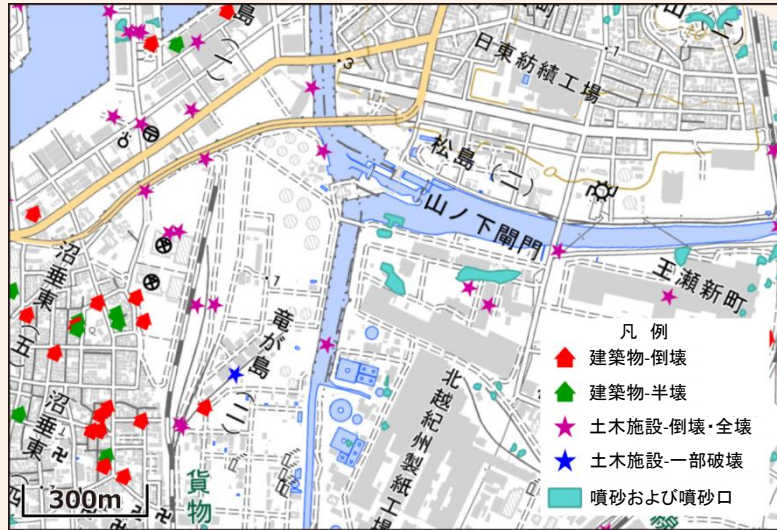


新潟地震による地盤の液状化



災害状況図



1964年6月16日13時2分頃に新潟県北部の海域を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、地震のゆれで新潟市内ではいたるところで地盤の液状化が発生したんだ。

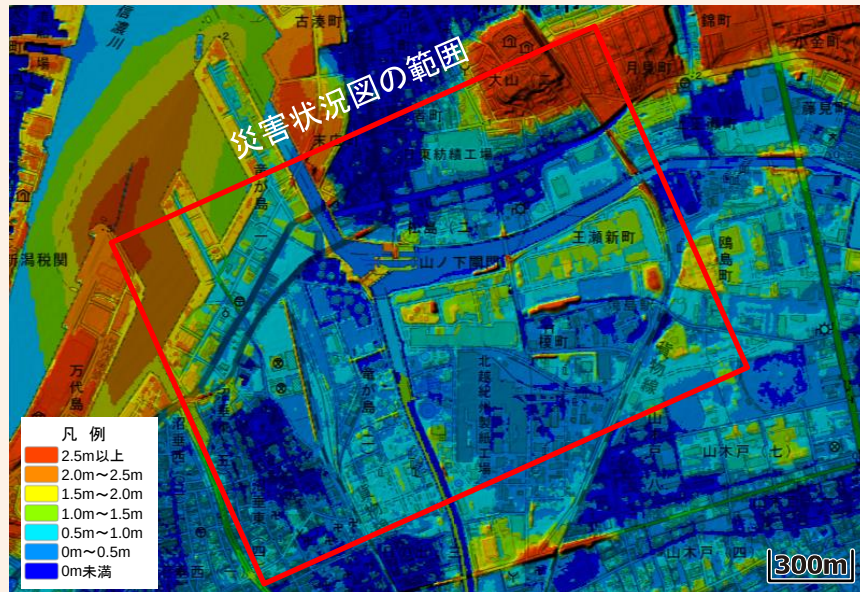
液状化が発生した場所を色別標高図と治水地形分類図で見ると、標高が1m未満の低い埋立地だね。

河川沿いの低い場所で地下水位も高いから、液状化しやすい場所だったんだ。

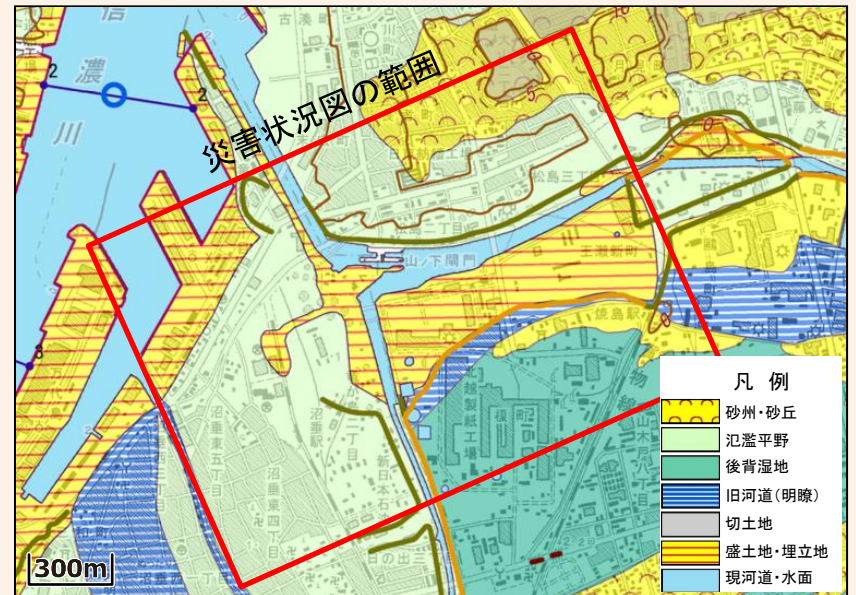
液状化が発生すると建物が倒れることもあるから注意が必要だよ。



色別標高図



治水地形分類図



新潟地震による地盤の液状化



災害状況図



液状化が発生した箇所を色別標高図で見ると、標高が0.5m未満の低い場所だね。

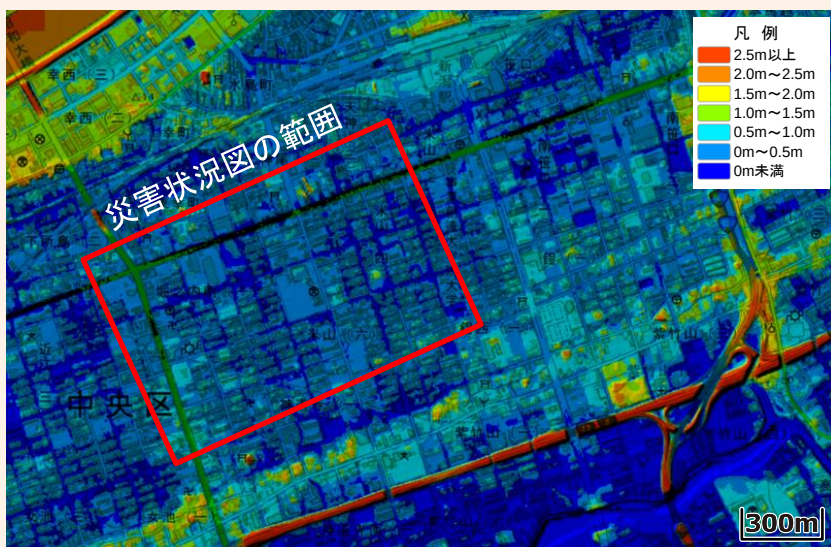
治水地形分類図では後背湿地になっているけど、砂丘の列の谷間になっているから周りから水が集まりやすい場所なんだ。

地盤が軟らかくて地下水位も高いから、液状化しやすかったんだ。

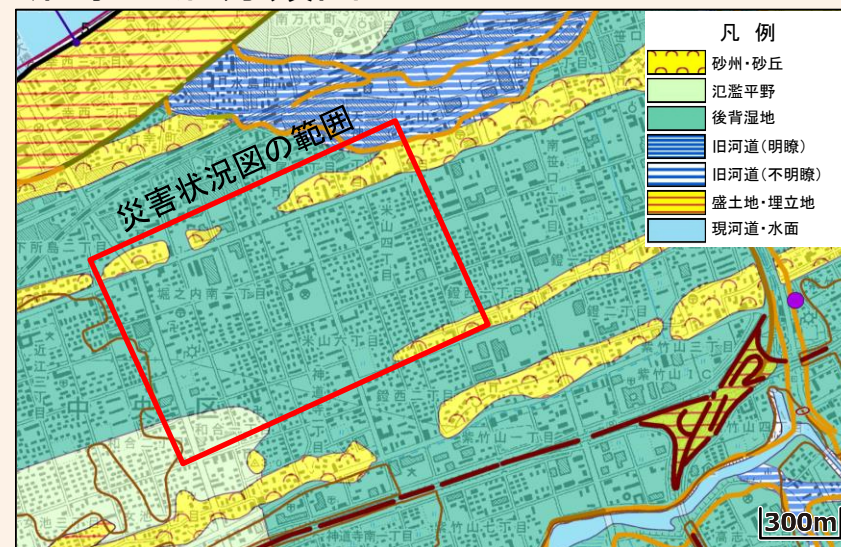
液状化が発生すると建物が倒れることもあるから注意が必要だよ。



色別標高図



治水地形分類図



新潟地震による地盤の液状化



災害状況図



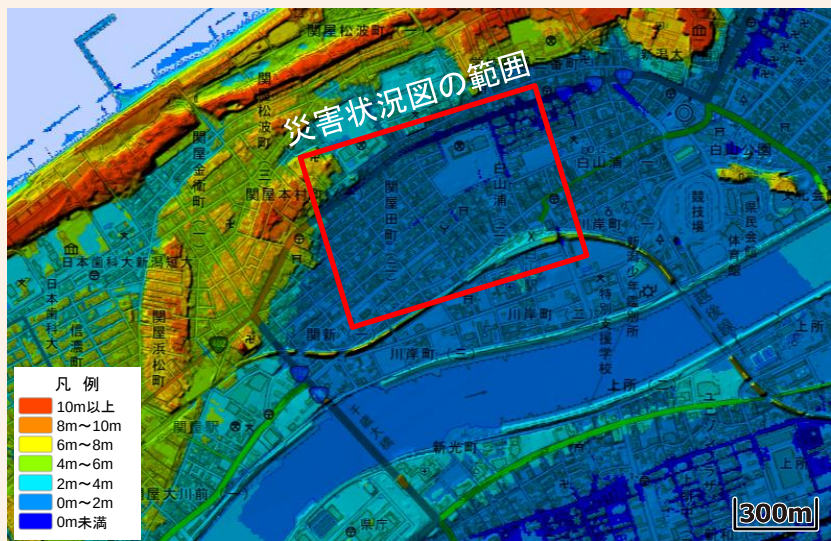
液状化が発生した場所を色別標高図で見ると、標高が0m未満で周囲よりも低くなっていることがわかるよ。

治水地形分類図では氾濫平野になっているけど、北側の砂丘と南側の自然堤防の高まりに挟まれた谷のような場所だね。凹地なので地表面から地下水までの深さが比較的浅くなり液状化に注意が必要なんだ。

液状化が発生すると建物が倒れることもあるから注意が必要だよ。



色別標高図



治水地形分類図

